



循環器内科統括部長鈴木先生と  
集中治療室看護師茶園さん  
→後ろ姿でごめんなさい



ドクターカーに乗せました



IABP(補助循環装置)を本体から外しています  
循環器内科川澄先生と臨床工学技士水谷さん

■ 2021. 10. 26

循環器内科医・臨床工学技士・ドクターカー運転手・集中治療室や救命救急センター看護師らが、あるシミュレーションをしていました。重症患者さんの搬送をいかに安全でスピーディに実施できるか検証していました。循環器内科的な早期初期治療が施され、次に循環器外科的治療が必要となり、当院で治療ができない際、緊急外科的治療が可能な医療機関へ転院しなければなりません。

重症患者さんには多くの輸液ポンプやシリンジポンプ、心臓補助装置が装着されている状況ですので、患者さんは勿論その医療機器類を同時にドクターカーに乗せないと転院は出来ません。それも時間との勝負ですから効率性も求められます。また、このようなケースはいつ遭遇するともわからないため多くのスタッフがスキルを共有しておくことも求められます。しっかりと動画に収めイメージトレーニングが可能なようにしていました。

さあ、明日からも患者さんのため、病院職員のために頑張ります。